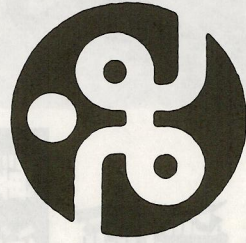


杜協のマークです



福祉の心を育てよう

杜協 二だより

第 13 号

1996年 4 月 1 日
(平成 8 年)

編集・発行

各務原市社会福祉協議会
鵜沼第二連合支部
編集委員会

◆今期の支部活動では、初めての試みとして、ひとり暮らしのお年寄を囲む会で、保育園児、小・中学生、そして女子高校生さらに保護者とい

◆民生児童委員の交替(5)人増員(4)人
今期支部では、民生児童委員が5人交替されました。退任された方は二期(五期(一期は三年)の永い年月福祉活動に専念され、また現在の杜協鵜二支部の中心的役割を果たして頂きました。辞められましても、引続いて直接、間接的に支部杜協に力をお貸し願います。

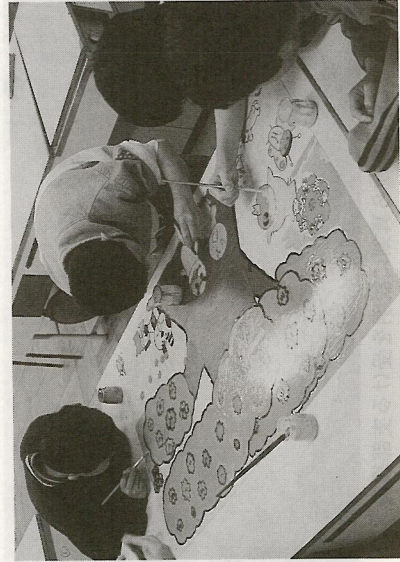
◆鵜二支部の会員は78%の加入率で、市の平均85%を下廻っています。八年度は、口コミやこの鵜二だよりによる啓発、自治会を始めとする各団体・組織の一層のご協力を頂いて、市の平均値85%以上の会員加入を是非とも達成したいものです。

◆意識調査では、貴重な多くのご意見が寄せられました。ひとり暮らしのお年寄りは、近隣ケアなどの訪問を歓迎、役員は、役員中心の杜協活動から住民に参加者を拡大することや、一般の熱意のある人の役員への参加、また杜協のPRなど多くは前向きのものでした。

◆学童保育の場も、一段と必要性が増でしょう。鵜沼第二小学校でも、校長先生他のご協力で今年から開設の予定でしたが、募集の結果申込者はお2人(七年度は7人)で、市の規定最低10人で開設に満たず、希望者10人実現の努力が必要です。

「杜協」 鵜沼第二連合支部 支部長 平松 幹 正

計画通り諸活動を展開 会員増が大きな課題

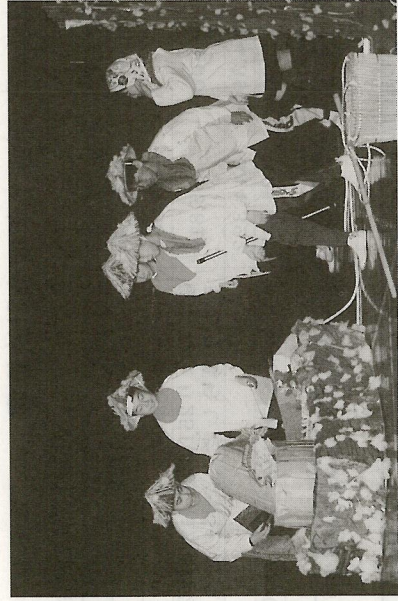


▲(中央小) 特別養護老人ホーム つづじ苑へ贈る、みんなの作品

つた二世代のふれあいを実現しました。核家族・少子・高齢化がますます進む今日、僅かな時間でも家族的な二世代の交流は、お互いの学習や生き甲斐のためにも、大切なことではないでしょうか。

◆意識調査では、貴重な多くのご意見が寄せられました。ひとり暮らしのお年寄りは、近隣ケアなどの訪問を歓迎、役員は、役員中心の杜協活動から住民に参加者を拡大することや、一般の熱意のある人の役員への参加、また杜協のPRなど多くは前向きのものでした。

◆学童保育の場も、一段と必要性が増でしょう。鵜沼第二小学校でも、校長先生他のご協力で今年から開設の予定でしたが、募集の結果申込者はお2人(七年度は7人)で、市の規定最低10人で開設に満たず、希望者10人実現の努力が必要です。



▲(鵜二小) 2月29日音読集会
ミュージカル風で熱演へ5年生



▲(中央中) 2月17日ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りに贈る弁当作り

(平成7年度) 社会福祉協議会の会員数 2,377人(77.8%)
鵜沼第二連合(各務原・三ツ池・川崎町)支部実績表(平成7年10月11日現在)

自治会名	自治会加入世帯数	一般会員数	特別会員数	会員数合計	会費額	全加入率
川崎町北	177	130	9	139	74,000	78.5
川崎町南	140	121	6	127	66,500	90.7
川崎町東	101	75	3	78	40,500	77.2
三ツ池東	108	75	75	75	37,000	69.4
三ツ池西	119	85	4	89	46,500	74.8
三ツ池西	123	91	8	99	53,500	80.5
三ツ池西	93	57	11	68	39,500	73.1
三ツ池西	85	38	38	38	19,000	44.7
三ツ池南	160	119	2	121	63,500	75.6
三ツ池南	201	155	4	159	81,500	79.1
三ツ池南	170	136	15	151	85,000	88.8
三ツ池南	137	112	2	114	58,000	83.2
三ツ池1丁目	86	54	2	56	29,000	65.1
三ツ池パークホームズ	88	2	2	2	1,000	2.3
各務原2丁目西	168	126	6	132	69,000	78.6
各務原2丁目東	154	133	3	136	69,500	88.3
各務原2丁目南	77	62	1	63	32,000	81.8
各務原3丁目西	150	132	8	132	66,000	88.0
各務原3丁目東	115	96	3	104	56,000	90.4
各務原4丁目	208	141	3	144	73,500	69.2
各務原5丁目	168	115	19	134	76,500	79.8
各務原6丁目	68	67	1	68	34,500	100.0
各務原9丁目	132	102	27	129	78,000	97.7
日毛社宅	28	19	19	19	9,500	67.9
鵜二支部合計	3,056	2,243	134	2,377	1,259,000	77.8
各務原市	38,107	29,457	2,904	32,361	17,767,600	84.92

※各務原市17支部交付金7,107,000円 鵜沼第二連合支部への交付金504,000円

講演

講師／奥田内科 奥 田 愛 子 先生

健康で豊かな暮らし

全般について「健康なくらしに焦点を合せ、専門的な立場で大変わかり易くお話をされ、すべての参加者は自分に関係のあることは真剣に、また参考になる内容はかりでしたので、実にいい雰囲気で盛り上がった

集いになりました。
ごく一部にふれますと、食生活について、いま私たちはこんなにも豊かに物が手に入るが、日本古来の食文化は良く、肉と魚では相対的に魚の多い食事を、野菜はすべて大切、ごはんは軽く一膳、唾液、噛むこと

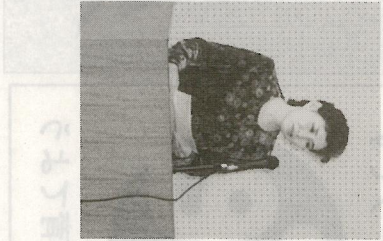
手足の指を動かすこと、寝る前に15分のダンベル体操で体は締まる。は

また、病氣予防に多くの質問が集中



鵜沼第二小学校 校長 三 羽 幸 夫

自分から進んで、人のために行動
「ボランティアというのは、いろいろな考え方、見方があると思いますが、ボランティアそのものの意味は、『奉仕』ということにつきますが、ボランティアは、人からの強制ではなく、自分から進んで、人のために行動することが大切なのです。



地元の素敵な女医先生の講演とあって、自治会長、民生委員を始め各団体役員、また近隣ケア、ボランティアそして一般の方など、95人の多彩な顔ぶれの人達が参加しました。昨年11月18日(土)13時30分から約2時間、各務原町コミュニティセンターで、標題の講演とレクと懇談の集いが開催されました。



施設長から真剣に説明を受ける支部役員

(特養) たじみ陶生苑へ研修
去る2月20日(金)に、社協鵜二連合支部役員13人は、特別養護老人ホーム、たじみ陶生苑を訪れました。一番すごかったのは、二人分のスペースのある個室が50室もあり、これは福祉施設の理想像でしょう。(武藤

また、このことを、社会全体の人が心がけていれば、ボランティアなどど、かしまって行う必要もな

「ボランティアという社会には、このような心構えの人が少ないからです。だから、私たちからこの輪を広

また、このことを、社会全体の人が心がけていれば、ボランティアなどど、かしまって行う必要もな

二十一世紀を担う
青少年をめざして

は、自分のためにやること、それ

が、急激に増えてきました。

見童会が中心となり、PTAや地域の協力を得て、様々なボランティア活動や福祉に関する行事に取り組んできた成果のおかげだと思います。

を育成することになるでしょう。

〔社協鵜二〕平成7年度会計決算書

(鵜沼第二連合支部)

区 分		予 算 額	収 入 額	備 考
支 部	交 付 金	500,000	504,000	支部会費1,259,000×40%
モデル支部	助成金	0	100,000	モデル事業助成
市社協助成金		320,000	285,810	鶴二だより251,800(12・13号)
(メニュー事業助成金)				ひとり暮らし老人を囲む会他
繰越金		344,392	344,392	
雑収	人	2,000	104,027	寄附金東高校81,616ボランティア720,000
計		1,166,392	1,338,229	

※備考/支部交付金は鵜二連合支部会費1,259,000円の約40%です。

区 分		予 算 額	支 出 額	備 考
1. 事 務 費		20,000	6,165	コピー・フィルム代
2. 共 通 実 施 事 業	費	238,000	205,882	
1) 福祉施設教育関係		28,000	20,200	福祉作文表彰
2) 福祉愛護訪問		50,000	57,131	ひとり暮らしねたきり老人、訪問等
3) 支部	育成	160,000	128,551	総会・事務局会議・研修会
3. メ ニ ュー 事 業		517,000	522,287	
1) ふれあい連り		96,000	116,737	ひとり暮らしの老人を囲む会
2) 福祉関係		130,000	34,200	福祉講演・座談会
3) 支部だより		270,000	355,350	鶴二だより 12・13号
4) 啓 発		21,000	16,000	青少年育成補助・鶴二小・中央小
4. そ の 他 の 事 業		177,000	156,500	
1) 保健体育		117,000	117,000	クローケー・盆おどり・市民運動会助成
2) 近隣ケア研修		20,000	16,000	介護講習会
3) 福祉映画会費		30,000	15,000	福祉映画負担金
4) 雑 費		10,000	8,500	各務原コミセン使用料
5. 予 備 費 (繰越金)		214,392	447,395	
計		1,166,392	1,338,229	



(鵜二小) 2月29日特別養護老人ホームつつじ苑での演劇表示板を披露

社協とのかわりに感謝

ニッ池町三丁目 永井久江
この稿が出る頃は春本番ですが、今はまだ余寒があります。皆様には

木枯しや雪の降る夜は
ニッ池町一丁目 小林瑠璃子
多くの方に支えられて十五年の月日が流れてゆきました。色々な思い出が去来します。お役に立てなかった事も多く悔いのみ残っております。木枯の吹く夜、小止みなく降る雪寒くないだろうか。ふとそんな事が心の中をよぎります。後任の立派な方が見守っていて下さる……。有難うございました。皆様に心を込めて。

民生委員退任のごあいさつ



左から浅野、満島、小林、森島、永井の皆様

民生・児童委員の退任
長期のご功績に感謝します

今期は、鵜二支部の地域内で一挙に5人の民生児童委員が退任されます。全員三期以上(一期は三年)在任され、生活保護救急対応、ひとり暮らしのお年寄りの死期を含めたお世話を始めとして、正に福祉の原点の活動をされ、またこの社協鵜二支部の現在までの基盤をつくって頂くなど、長期のご功績に感謝します。そして皆さん揃ってお元気ですので、後継者のご指導と今後の社協活動にも“豊かな経験”の力をお貸し下さい。



身体障害者相談員
山田 郁夫

身体障害は軽重によって等級が定められている。それは生活の難易度を表すものでもある。だが、実際の生活となると同じ等級の同じ障害であつても個人差があつて、生活には差が生じる。だから障害等級は不公平だと言う人もいるが同一障害等級の場合の機能障害は同じで差異はない。個人差が生じるのは生活上の問題である。従つて人それぞれの努力

たくましい生き方に感動

各務原町三丁目西 満島 正
昭和六十二年から三期九年間、勤めさせていただき、何も出来なかった事を心からおわび致します。

お健勝の事とお慶び致して居ります。社協の皆様方には温いご支援を賜り、私民生児童委員を終る事が出来ました。深く感謝致し有難うございます。又老夫婦若者達がニッ池町に住むので、何かとお世話になりますので、ご指導下さいます様、お願い申し上げます。

の差であると言つてよいと思う。
過去に出会つた障害者の中に片膝関節の曲らない四級障害が何人かいた。Aさんは高齢になつてから産業事故で障害を受け、歩けないので家の中をいさつて生活しておられたが、

障害者には個人差がある

糖尿病を併発して三年目に他界してしまわれた。Bさんは戦傷で同じ障害を受け戦後は杖をついて歩いてこられたが、高齢になつてから健常側の膝に疼痛が現れ、寝起きが不便になり息子さんの介護に頼りながら通院を続けられた。今いくらか回復

この間、高齢者の方のたくましい生き方、父子母子家庭の子供と共に生きられる姿など、心から感動を覚えた者です。この出会いに感謝し、生きたいと、有難うございました。

積極的に社会参加を

ニッ池町五丁目 森島俊文
地域の皆様との接触の少ない私が、果して民生委員としてお役に立つ事が出来るだろうか、とお引受けしてから十二年の長きに亘り勤めさせて頂きました。急ピッチで進む超高齢化時代に入り核家族化がさらに進み、益々地域福祉の重大な時に入りました。退任しましたが動ける間は積極的に社会参加をさせて載きます。

大変充実した日々の中で

各務原町六丁目 浅野妙子
私は、民生児童委員として、三年間をを務めさせていただきましたが、この間、多くの方々に接することが出来ました。心からうれしく思っています。又、市の方々のご協力を得て、いろいろの行事に携わらせていただきましたのも、よい思い出です。有難うございました。

平成 7 年度 社会福祉協議会支部活動内容 (鵜沼第二連合支部)

年月	活 動 内 容		
7 年 4 月	12日(水) 事務局会議 (計画) 21日(金) 社協鵜二連合支部 理事会・総会 25日(火) 事務局会議 (細部実施内容)	10月	1日(日) 中央小・校下市民運動会協賛 15日(日) 鵜二小・校下市民運動会協賛 23日(月) 介護講習会 於：各務原町コミセン参加60人 指導：市保健婦他3人 28日(土) ひとり暮らしのお年寄り等を囲む会 ●鵜沼西保育所園児歌のプレゼント21人 ●中央・中央・鵜二小・中央小福祉作文表彰と代表の朗読 計16人 ●東高校吹奏楽団 演奏 約17人 ●参加者全員のうた声・会食など 総計115人参加
5 月	27日(土) 「教育と福祉」講演会 講師：東高校長 渡辺利昭先生 於：各務原町コミセン参加72人 15日(月) ●市支部長・推進員会 鵜二だより「12号」編集委員会 福祉作文募集 (中央中・中央小・鵜二小)		2日(日) 意識調査①ひとり暮らしのお年寄り ②支部社協役員対象に実施 18日(土) 「健康で豊かなくらし」講演と懇談 講師：奥田内科奥田愛子先生 於：各務原町コミセン参加95人
6 月	12日(月) 地域リーダー研修会 於：産業文化センター 当支部16人参加	11月	意識調査の集約をはじめる
7 月	7日(金) 鵜沼西保育所 (夏まつり) 15日(土) 鵜二だより「12号」発行 20日(木) ●市支部長・福祉推進員会 25日(火) 親子ふれあい映画会 アニメ(ヘレンケラー)参加120人 28日(金) 社協4 モデル支部長会	12月	事務局会議 鵜二だより「13号」編集会議
8 月	20日(日) 社協会員募集みんなで推進 ●中央・中央・鵜二子供フェスタ協賛 ●各町内盆おどり協賛	8 年 1 月	友愛訪問ねたきり、ひとり暮らしお年寄り ●市支部長・推進員会 2月 たじみ陶生苑研修 支部役員13人
9 月	10日(日) 第14回福祉フェスティバル 22日(金) 社協支部長会	2 月	1日(金) 会計監査 8日(金) 理事会・総会 鵜二だより13号発行



10月23日(月) 介護講習会風景 (鵜二連合支部)

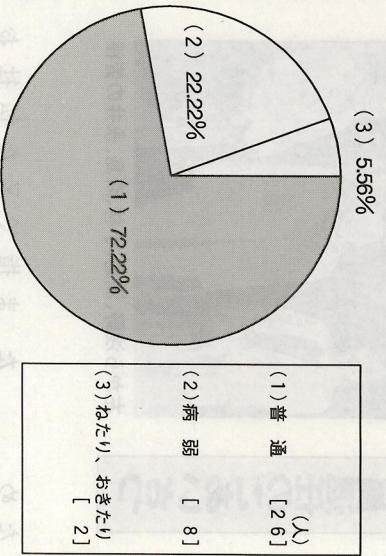
鵜沼第二連合支部 年寄り実態調査

りの皆さんの生活実態や意識をより正
びボランティア、さらに支部社協活動
に実施しました。

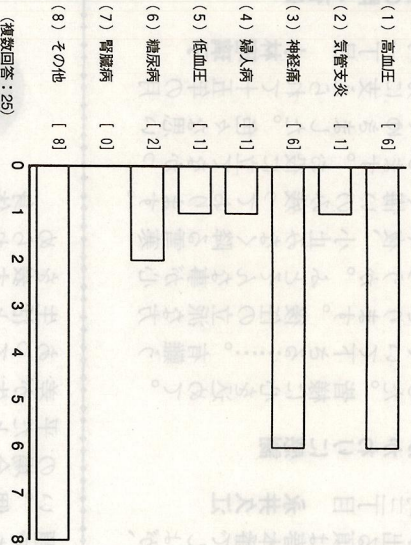
年寄り 総数37人
人、各務原町19人

97.3% ありがとうございました。

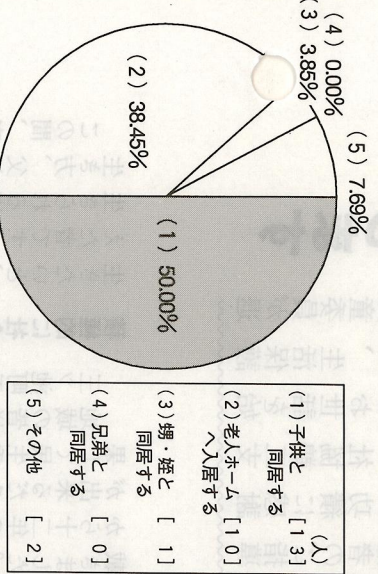
問1ー(1) あなたの健康状態はいかがですか。



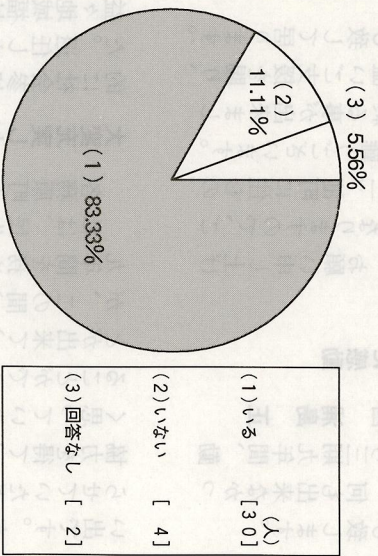
問1ー(2) 病弱の人はどんな病気ですか。(複数回答)



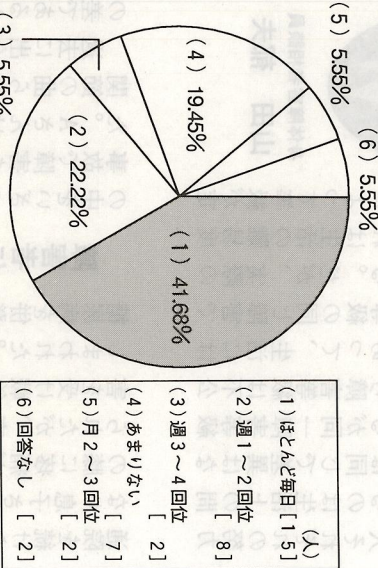
問4 将来同居についてどのように考えていますか。



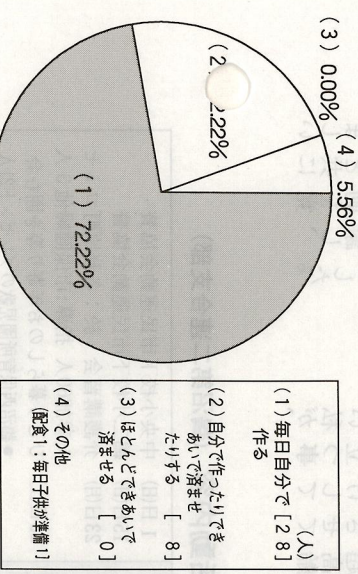
問5 気軽に話しあえる人がいますか。



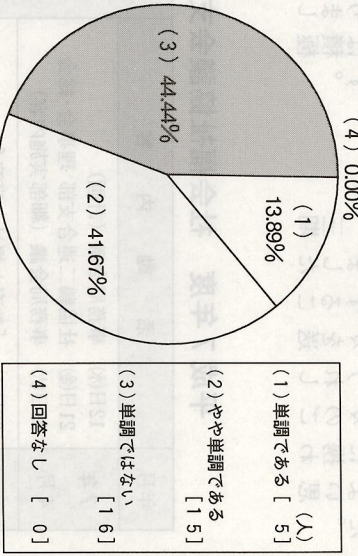
問6 近隣とのつきあいはどのくらいありますか。



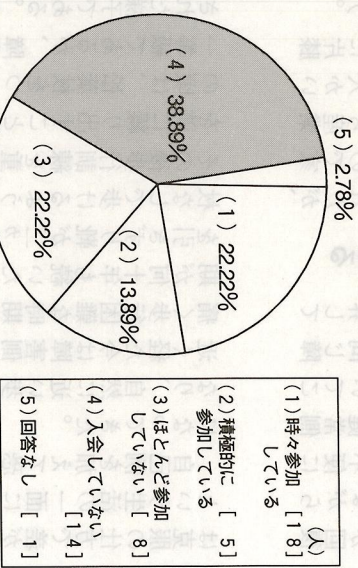
問10 食事の準備はどのようにしていますか。



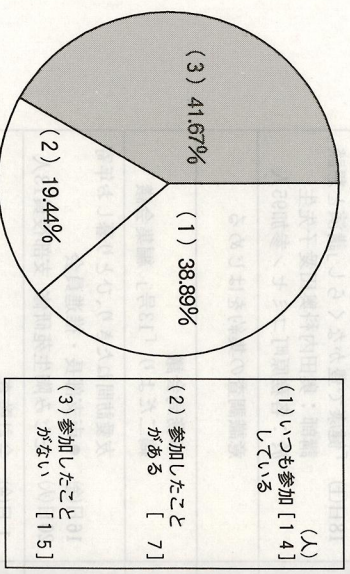
問11 毎日の食事が単調になると感じますか。



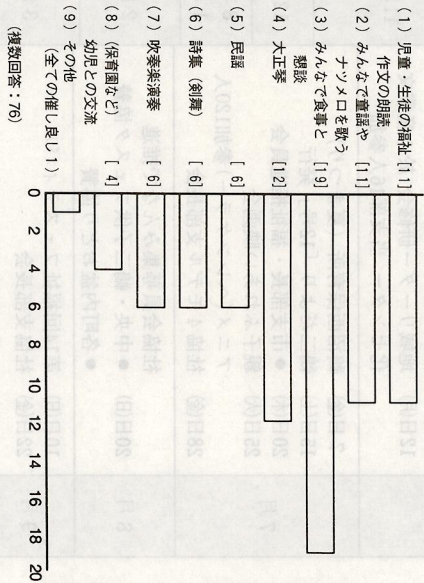
問12 老人クラブ活動に参加していますか。



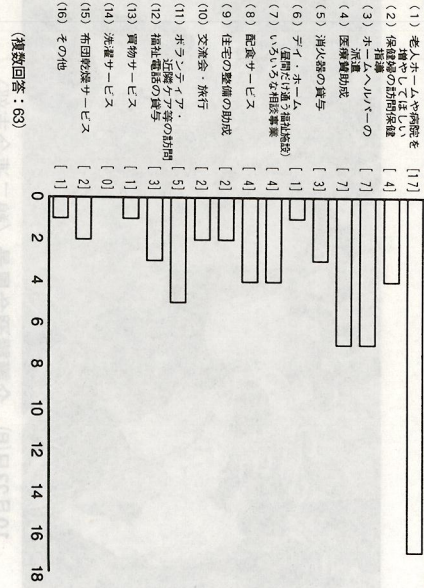
問16ー(1) ひとり暮らしの老人を
困む会について



問16ー(2) 参加したことのある人は、催し
の内容について好きなものに○を
つけて下さい。(複数回答)



問17 今後ひとり暮らし老人に対する福祉サービス
について、どのような制度を実施または拡大
すべきと考えていますか。(複数回答)





鵜沼第二連合支部

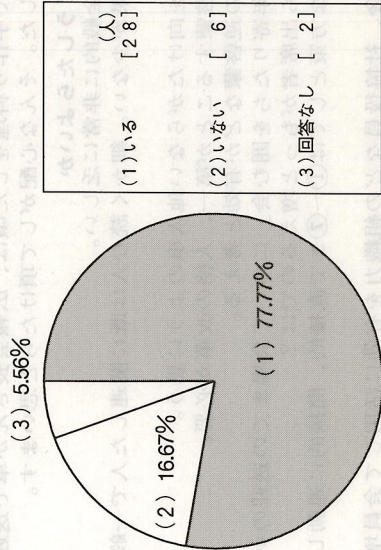
各務原市社会福祉協議会

ひとり暮らしのね

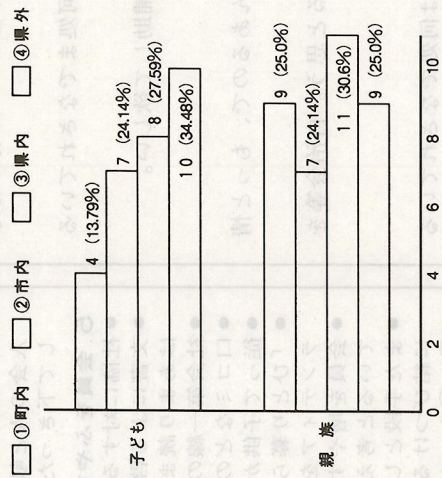
この調査は、ひとり暮らしのお年寄りに
確に把握して、今後の老人福祉施策及
の基礎資料として活用することを目的

- ① 鵜沼第二連合支部 ひとり暮らし
(内訳：川崎町5人、三ツ池町13人)
- ② 回答して頂いた人 36人 回答率

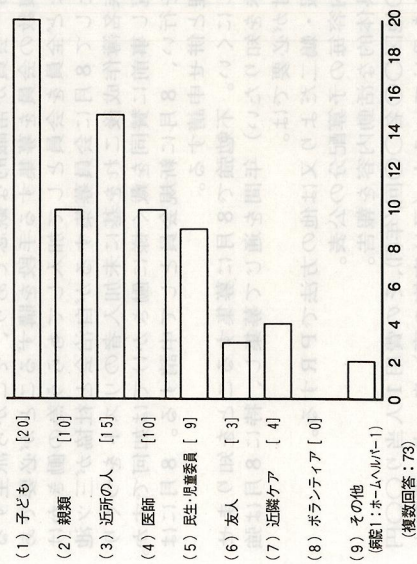
問2ー(1) お子さんや親族の人はみえますか。



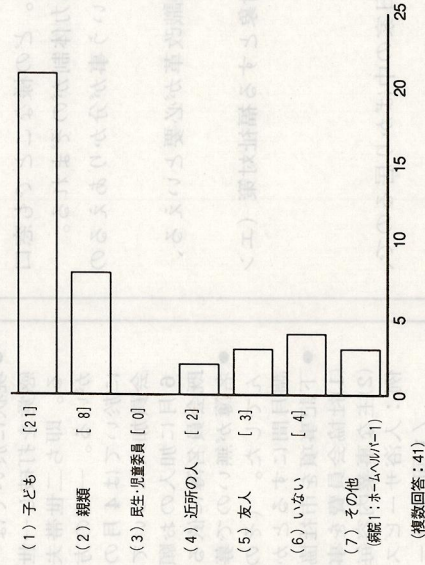
問2ー(2) お子さんや親族はどこにいますか。



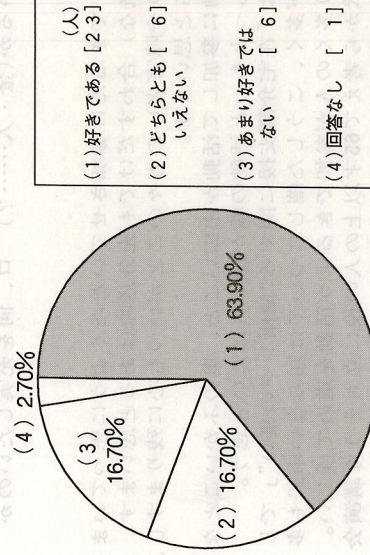
問7 急に体の具合が悪くなった時、
どなたに連絡しますか。(複数回答)



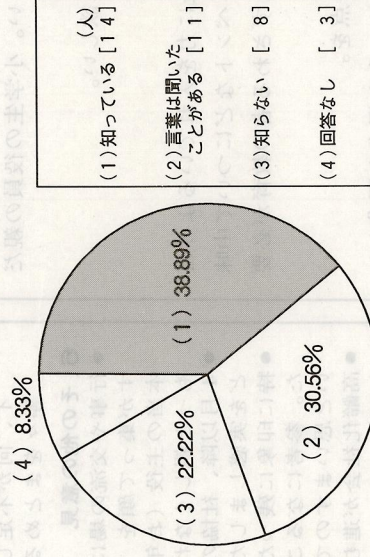
問8 病気になった時、看病してくれる
人はどなたですか。(複数回答)



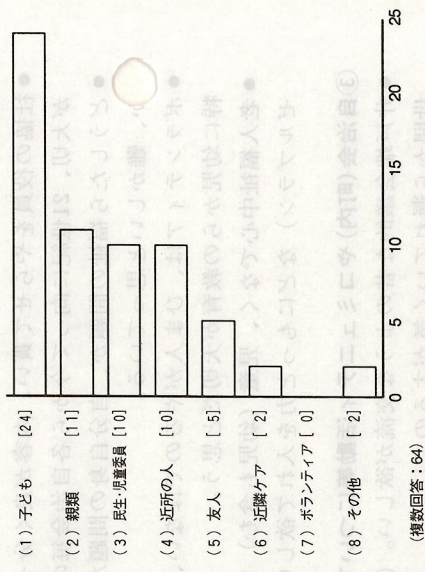
問13 同じ世代の人と話したり、
過ごしたりするのは好きですか。



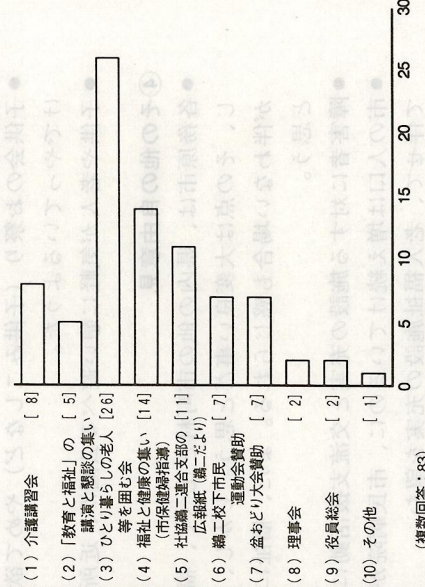
問14 社会福祉協議会(社協)は、主にどんな
仕事をしているか知っていますか。



問9 病気以外で困りごとができた時、
どなたに連絡しますか。(複数回答)



問15 社協鵜沼第二連合支部の活動のうち、
特に多く参加する活動は何ですか。
(複数回答)



問(8)自由なご意見・要望(主なものを要約)

この内容は役員会で分析しますが皆さんも考えたり話し合ったりして社協の一層の充実に全員の方のご参加を期待します。

①ボランティア活動等に関するもの

- 給食週1回を始め、平素の民生委員やボランティアの方に感謝している。社会福祉協議会などで、何とかその労に報いてもらいたいと願う。
- 民生委員の役割りと、地域ボランティアはどこまで活動しているのかよく分らない。
- 手話講座が昼間あれば受講したい。
- ボランティア活動にもっと、誰もが自然に参加（子供たちも含めて）できるような配慮してもらいたい。
- 幼い子がいても、参加できる（連れて行ける所）ボランティアがあれば、参加したい。
- 日常生活で手助けが欲しい人がいる。一方、少し時間が出来て、人に役立つ事がしてみたい人がある。両者の接点をどうすればいいだろうか。
- 短時間のボランティアをしたいが、何処に申し込めばいいのかわからない、広報紙等でもっとPRを。
- 独居老人、ねたきり老人の把握と介護者の援助は何処までなされているのか、対応策などの情報を。
- 無償のボランティアだけでなく、最低交通費等は補助して欲しい。

②社協も含めた福祉活動全般について

- 福祉の事について、よくわからないことがたくさんあるので、もっと情報等提供してほしい。
- 社会福祉協議会は今後、今以上に大切になってくると思う。自治会等を通じてもっとPRしてほしい。
- 独居老人に対する精神的、肉体的ケアの充実を。
- 独居老人、ねたきり老人の把握と介護者への援助は何処でなされているのか。
- 活動グループへ新しく参加した時に、仲間が増えたと思ってもらえずに中に入りづらい思いをしたことがある。もう少し気軽に参加出来るよう望む。
- 社協の役員をやらせて貰い、内容が良く分った。どの様なことでも窓口が大切、21世紀に向けて今から各自治会毎の協力体制がのぞまれる。
- どうしたら福祉の問題が、自分自身の問題だという事が分かりあえるのか、難かしいと思っている。
- ボランティアは、ひま人がやるのではない、意識改革が必要といえる、特に幼児からの教育が大切だと思う。
- 老人福祉中心でなく、児童（幼児も含む）を対象とする福祉対策（エンゼルプラン）などにもっと力を入れて欲しい。

③自治会(町内)やコミュニティ活動等について

- 井戸端会議的な昔のような交流が欲しい。（毎日家の中ばかり居るので、世間から遅れていく気がするのだ）
- 働く主婦は広報も見程度となるので、地域の事業にうとくなる、年1～2回でよいが、ビデオでも回覧して貰うとよいと思う。
- 市民運動会の参加者が、小学生の一部だけだ。
- 子供会のお祭り（子供みこしなど）やめて欲しい。小学生の役員の親だけでやっているようだ。
- 子供や老人が気軽に憩い遊べる公園が、近所に欲しい。

④その他の自由意見

- 各務原市は、県内の他の市町村と比べて、福祉に力を入れているようにだし、その点は大変良い事だと思う。しかし、イベントなどについて中味が伴わない場合も感じられる。また、福祉にたずさわる者の教育が必要と思う。
- 障害者に対する施設の充実と交流支援活動に力点を。
- 市の人口は増え続けているのに、市民病院がない。また切実な要求として伴せて、老人福祉施設の充実を望む。

1. 社協役員の人数などに関連したもの

- 民生委員以外は一年交替だから一般からも継続できる熱意のある人を入れる。

2. 役員構成などに関連したもの

- 役員を中心にして集める事よりも誰もが参加しやすい様に広報やPRの活用を考えていただきたい。
- 小PTAの役員は受けたが社協の役員を受けた覚えがない前役員からの引継ぎでも年1回会合がある程度と聞いていた。各団体役員は社協役員もあると認識しなければだめではないか次年度には必ず引き継いでおく。
- それぞれの地域で活動の核になる人を推薦し活動できるようにする。当然自治会長などと連携を密にする。
- それぞれの自治会で、その地域の状態に応じて地についた活動をするのが肝要である。

3. 役員になったことについて

- 良かったが時間がうまくとれず参加できないのが申し訳なかった。
- 代理として市社協評議員会に3回出席した。
- 感情的にならず相手の立場を考慮するようにしている。

4. 支部社協活動「ひとり暮らし老人を囲む会」について

- ひとり暮らしの老人を囲む会について出来るだけ大勢の人に出席してもらうように年に1度は三ツ池でやって欲しい。
- 三ツ池西部のひとり暮らしのお年寄りの参加が殆んどありません。婦人会の人と岐阜ガスで手作り料理をした頃は、広報会長さんが車で送迎して下さったものでした。そんな心配がして頂けたらと思います。

5. 会員をふやすにはどうしたらよいか

- 社協に対する認識が全般的に非常に乏しい。
- 文書による啓蒙は成果が少ない。細かく読む人は既に関連した人で一般はあまり読まない。
- 社会第一線の人は目を向けたがらない他人事のように思う。
- 口コミなどの対話で啓蒙することが第一、人格の改革が必要。
- 従って子供から親への逆啓蒙などが有効と考える。
- 「ひとり暮らしのお年寄りたちを囲む会」について会場までの送迎のボランティアを考えたら出席者がもっと増えるのでは？
- 会員を増やす具体的な方策としては①～⑦まで直接的、間接的に運動していると考える。
- また手段として自治会、社協役員などの組織力を有効に活用して会員増に結びつける努力（行動）が必要不可欠と思います。

- ①～⑦まで全部実施すること、支部社協活動の主催はどこか。例えば鶴二・中央小学校区市民運動会の賛助を社協がしていることなど知られていないPRが必要。

- また社協役員には各種団体の役員が入っているのだからPRの方法も検討事項に入れてはどうでしょうか。

- 現状に於いては一世帯一会員が常識的な観念であり、そこから派生する感覚を打破し一世帯複数の会員を募集する手段を購ずることが必要である。即ち二世帯夫婦など全員を会員として加入してもらう為の働きかけがある。一つの方法として8月に会員募集するが自治会と社協が三ツ池に於いては4月の家族名簿作成後これを基に未加入者のリストをつくり会員加入について回覧し事前に賛同を戴く様に働きかけては如何ですか。6月に加入のお願いを行い、8月に新規会員として申請する。8月には既会員名簿に依る処理と併せ申請する。
- 名簿が無いので募集しにくい。不勉強で8月に募集することを知りませんでした。（その意味を知りたい）年間を通じて募集し、特に8月は強調月間にするとか検討が必要では。
- 下記事項を市社協広報・鶴二だより又は他の方法でPRする。

- (1)社協会費を事業内容毎の予算配分の公表。
- (2)主な事業内容毎の具体的な活動内容を報告。
- 例：入浴サービス○○地区○○名○○回/年(月)、その費用1人当り○○円/1回 ※サービスを受けている人（又は家族の声）良い点・要望すること等々

- (3)現在の活動内容の充実度がわからないと思われるので皆んながよくわかる様な資料を作成しPRする。最低限の理想目標（前年度よりレベルアップした目標でも可）に対して
- 1、何が不足しているか(金・人……?)
- ロ、何を充実したいのか等々をまとめる。

6. その他の意見

- 行事や交流の場には、できるだけ参加させていただくように思っていますが集って顔を（元氣な）合わすだけでも充分意味はあると思います。本当の主役（お年寄りや障害者）の方々のことがいつも心に残りますし、もっと親しくなれたらと思います。
- 4月以降、社協の活動に参加して活動が市広いこと、奥のふかいことなどを実感しました。もっともっと活動の輪が広がればよいと思う。
- 特に印象に残ったのは「在宅介護支援に関する“健康シエクの集い”」でした。参考になることが多く、こうした催しについては知らない市民も多いと思いますのでより多くの人が参加できるよう活動を進めてほしい。
- 高齢化社会が進む現状から考えて65才以上の人の役に立ちそうな講演会や健康に関する会合、各施設についての案内等の活動や情報などを取り入れたらどうでしょうか。

生きがいのある 福祉のまちづくり



配布数44枚
回収数40枚
回収率90%

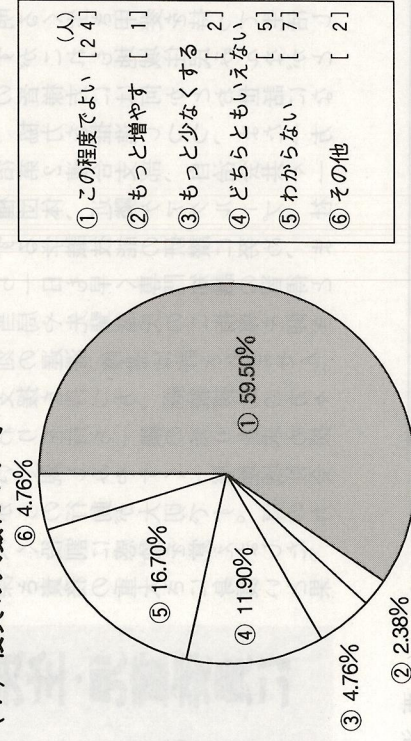
社会福祉協議会鵜沼第二連合(川崎町・三ツ池町・各務原町)支部 支部役員の意識調査の結果

この調査は、支部社協をもっと身近で楽しいものにするために、役員みなさんの意識をより正確に把握して、これからの活動に生かすことを目的に実施しました。

1. 社協役員の人数について

役員は、正副支部長3人、理事17人、評議員26人、そして顧問5人の計51人です。

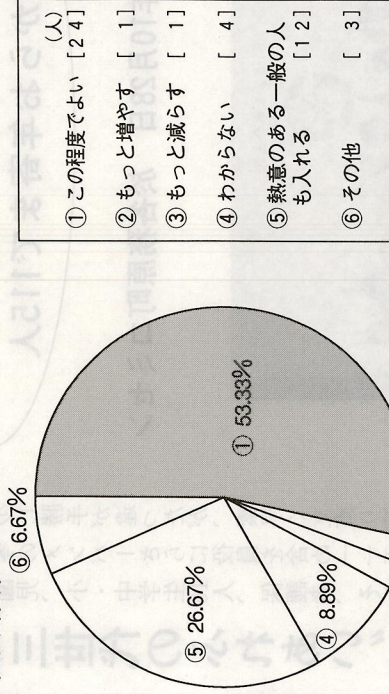
(1) 役員の人数について



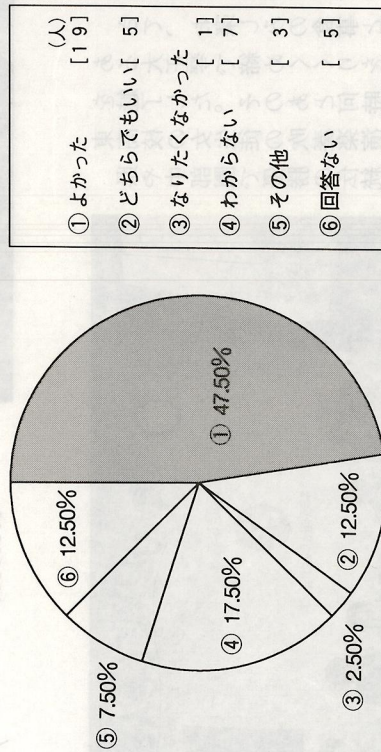
2. 役員構成について

自治会長、民生児童委員、近隣ケア、小・中学校PTA、子供会、障害者、女性会議、ボランティアなどで構成されています。

(2) 役員構成について

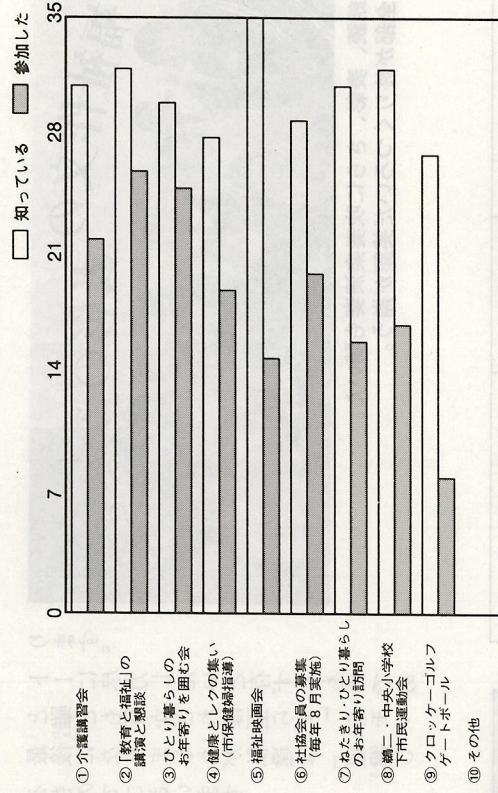


3. 役員になったことについて

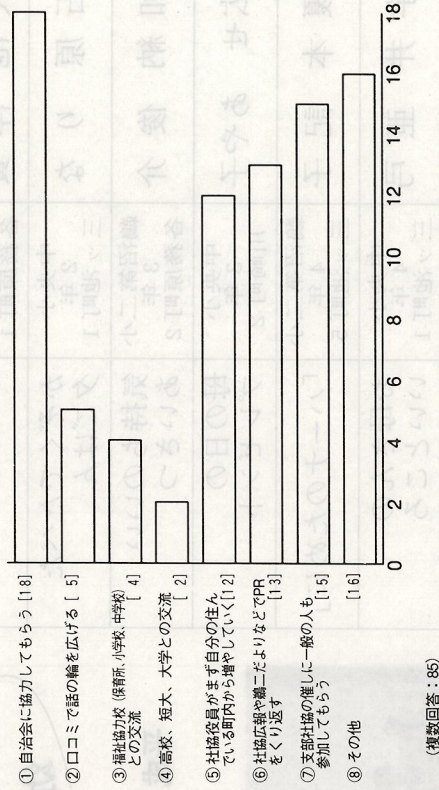


4. 支部社協の活動について

※知っているものに○印を、参加したものに◎をつけて下さい



5. 会員を増やすにはどうしたらよいか (複数回答)



(複数回答: 85)

〈平成8年3月8日〉社協鵜二連合支部役員(支部総会を終って)



支部総会では、中央小・鵜二小の福祉協力校(3年間)が終り、今年から推進校として取りくむことや、支部会員の拡大などが議論された。

改選5
増員4

福祉のまちづくりの担い手
大きな期待新民生・児童委員に



(敬称略) 前列左から石黒、桜井、野入、熊崎、吉田
後列左から木下、柴田、柴山、

奥の深き責務の重大さに身震いと果たすべく役割に感動を覚えました。これらの行動が大切です。肩の力を抜いて親しみやすく一層地域社会に交わりを持ち一縷の光りを求め援助、支援を待つ方、継続援助の方々に一刻の遲滞停滞は許されません。行政当局や先輩諸氏のご指導を仰ぎながら一日も早く専門知識の習得と関係する学識技能の研鑽に努め、また各種団体、近隣ケアグループ、社協鶴沼第2連合支部、自治会共々一地区の皆様方には何かとお世話になります。ですがこれも地域住民みなさんがともに明るく生き甲斐を持って生活して頂くためご高配ご協力をお願いするものでございます。

最後になりましたが私達は「道徳」と雖ども行かざれば至らず」をモットーに尽力したいと存ずるものであります。



朗読、表彰、さらに吹奏楽演奏も聴いた。
全部が終りくつるいだ笑顔が満ちる。

「重責を肝に銘じて」

民生・児童委員 吉田 英夫

永年に亘り、民生委員・児童委員としてご活躍され、民協、社協活動を通じて、豊かな地域社会づくり、思いやりのある住民福祉の向上に日夜献身的なご努力をもって多大な貢献をされた先輩諸氏がこの度、任期満了(定年)を以て退任され、後任と担当地区分割増員も含め、私達新任者9名が平成7年12月1日付けで、その重責を担わせて載く事になりました。

私達は、正直に言って社会福祉に関する知識、一般的、通念的な知識感覚のみであり、研修会を終えた時には今日の福祉行政の発達その

ひとり暮らしのお年寄り
高齢者のみのご夫婦世帯 } を囲む会

みんなで盛り上げた集い!!

幼児からお年寄まで115人

平成7年10月28日 於各務原町コミセン



「囲む会」三世代のふれあい」が実現
鶴沼西保育所の園児、小・中学生16人、保護者、そしてボランティアの高校生、大正琴のメンバーさらに役員を含め一五五人が参加。園児たちは始め少し勝手が違ったが、素早く立直り演技を披露した。

- 第1 / 木下ちか子 ニッ池南第3
- 第4 / 柴山澄子 各務原5・6丁目
- 長瀬博美 各務原3丁目東・西
- 本田啓子 各務原2丁目西



県や中部圏で優勝の伝統をもつ、東高校の女生徒の吹奏楽演奏は会場を魅了した。そのあと何時も人気の大正琴で締めくくりをした。さて、お楽しみの食事と懇談で場も和んできて、アコデオンの演奏でみんなの歌声で盛り上がり、集いを終った。ある人が役員の一人に言った、「最初の最後にならないようにね。」と注文した。

額 額 規	鶴沼第二小 1年 各務原町4	ごみをへらそう
たにぐちるみ	中央小 1年 三ッ池町2	おてつだい
大 池 洋 貴	鶴沼第二小 2年 各務原町1	ねこの手
石 原 り な	中央小 2年 三ッ池町1	かぞくでたべた 夕ごはん
加 納 俊 介	鶴沼第二小 3年 各務原町2	気持ちのいい あいさつ
広 せ あ や 子	中央小 3年 川崎町2	母の日の プレゼント
榎 本 記 子	鶴沼第二小 4年 三ッ池町5	「ハーナのために」
宇 井 亜 弓	中央小 4年 三ッ池町1	お母さんの いいところ
坂 昭 成	鶴沼第二小 5年 各務原町4	かがやけ各務原
津 崎 旭 弘	中央小 5年 川崎町3	ぼく的生活とゴミ
小 野 正 俊	鶴沼第二小 6年 山の前町3	通学路をきれい にしよう
山 田 舞	鶴沼第二小 6年 三ッ池町3	みんなと私の自然
中 本 こ ず え	中央小 6年 三ッ池町1	事故のない明るい 町をめざして
辻 恵 美	中央中 1年 川崎町2	秘密のプリンク
三 浦 喜 子	中央中 2年 朝日町4	老人ホームを 訪れて
栗 本 幸 子	中央中 3年 各務原町4	人に手を貸す勇氣